国営農地再編整備事業

南長沼地区



現 状

本地区は、北海道の石狩平野南東部に位置し、石狩川水系 千歳川流域に拓けた水田地帯であり、水稲と転作作物である 小麦、大豆を主体とする土地利用型作物を中心に、収益性の 高い野菜などを導入した複合経営が展開されている。

また、地域では全町的に営農集団を設置し、共同作業等による生産コストの低減を図りながら農業所得の向上を目指している。

しかしながら、地区のほ場は小区画かつ不整形で排水不良を呈しており、経営耕地も分散していることから、共同作業による機械化作業に支障を来している。



小区画ほ場

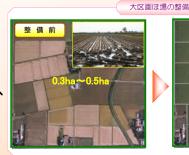


排水不良ほ場

事業目的

本事業は、既耕地を再編整備する区画整理と地目変換による農地造成を一体的に施工し、生産性の高い基盤の形成と土地利用の整序化を通じ、農業の振興を基幹とした本地域の活性化に資することを目的としている。

本地区では、地域農業の維持・発展に向け、 本事業を契機として、効率的かつ安定的な営 農集団体制を確立し、土地利用型農業の効率 化と集約型農業の拡大による地域農業の担い 手となる農業者の経営安定・向上を目指す。





【大豆】



ほ場の大区画化に伴い大型機械 による共同作業体系を確立

事業概要

◇関係市町村:夕張郡長沼町 ◇受益面積 : 1,550 ha ◇受益戸数 : 160 戸

◇主要工事 : 区画整理 1,545 ha

開 畑 5 ha

幹線用水路 3条 7.7 km

◆主要作物 : 水稲、小麦、大豆、野菜類



国営農地再編整備事業「南長沼地区」事業構想

現在

国営農地再編整備事業による整備



将来

- ◎営農集団体制の確立による地域農業の維持・発展
- ◎大型高性能農作業機械の更なる効率的な利用体制の整備

集落

専業農家 (土地利用型農業)

> 専業農家 (集約型農業)

高齢農家等

兼業農家

土地持ち非農

組織化

J A ながぬま 農地利用集積

円滑化団体。

農地の賃貸借

農作業の委託

営農集団

専業農家 (土地利用型農業)

◇共同作業(作業受託) ◇機械・施設の共同利用

> 専業農家 (集約型農業)

> > 活

ルカモ

るを

地軸

域と

づす

くる

IJ

将来像

業

生

安

定

向

機械作業集団(仮称)

水稲

小麦

大豆

111 連携

営農集団

営農集団

の連携

営農集団

営農集団

営農集団

営農集団

営農集団

村

の

持

続

的

発

様 な 農 業 者

専業農家 (土地利用型農業)

専業農家 (集約型農業)

高齢農家等

兼業農家

土地持ち非農家

小麦・大豆の単収・品質の向上

産 拡 経 営

> 日本有数の作付面積・収穫量を誇る 長沼産大豆

料 自 給 率 ഗ 向 上 1= 寄

食

取組拡大→経営発展

経営発展←取組拡大

グリーン・ツーリズム事業の推進による農村振興 〔農業体験学習等による都市と農村の交流〕



農産物直売所を活用した地産地消の推進による 「ながぬまブランド」の確立や6次産業化の展開



担当:北海道開発局 札幌開発建設部 札幌南農業事務所 (TEL 011-376-6030)